

# 交渉速報

J R貨物労組中央本部業務部

2022年6月17日

No.20

2022年度 夏季手当妥結！！

基準内賃金×

# 1.72カ月で妥結！！

～2022年度 夏季手当交渉最終報告～

2022年度夏季手当交渉は5月24日の申し入れ以降、団体交渉を積み重ね、職場で奮闘する組合員と共に闘ってきました。指定公共機関である鉄道貨物輸送の使命を果たすため、列車遅延や常態化している要員不足の中でも、列車を止めることなく輸送の確保に最大限努めている組合員と、その家族の切実な想いに応えるため労使交渉を積み重ねてきました。そして本日18時30分より最終交渉に臨み、席上、会社は基準内賃金の1.72カ月分とする回答を示しました。

中央本部はこの間の交渉の中で、①高い収入計画を策定したのは会社であり、計画未達を理由とした手当抑制は認めない。②職場では新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が増加しており勤務操配に苦労している。③2022春闘では、ベースアップと昇給額表に基づく昇給を合わせ平均1.8%の賃上げを勝ち取ったが4月の物価上昇指数は2.1%であり物価上昇分に追いついていないことを主張し、この間の組合員の労苦に報いることを訴えてきました。

中央本部は、これまでの交渉を踏まえた上で、①「昨年冬の水準を確保したい」とした当初の考えよりも上積みし、計画未達を理由とした手当抑制姿勢を崩すことができたこと。②人事制度に対して組合員は多くの不安と不満を抱えていることから、引き続き問題解決をはかること。③職場の老朽化設備や女性設備の改善、新型コロナウイルス感染防止対策を早急に行ない、職場環境を整えることと合わせて、職場の欠員対策と人材確保・流出防止策を講じること。④現行の鉄道貨物輸送の全国ネットワークの維持にむけて、労使で取り組むことを確認したことから、今夏季手当について、これ以上の前進はないと判断し妥結することとしました。

夏季手当獲得闘争において、職場では役員会や座談会、レクや総対話集会など工夫した取り組みによって現状認識の一致をはかり、山場の闘いでは6月14日の全国統一職場集会や現場長要請行動を展開してきました。中央本部への激励FAX、本社へのFAX行動などで、中央本部交渉を職場から支えて頂いた全組合員の皆さんに、改めて感謝申し上げます。夏季手当獲得の闘いを総括し、次なる闘いにむけて取り組んでいきましょう。中央本部はその最先頭で闘うことを明らかにし、夏季手当交渉の最終報告とします。

以上